

IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム第18回会合

ご注意:

- ご参加いただいた方はすべて議事録にお名前とご所属が掲載され公開されます。
- ご発言の際は以下をご了承の上ご発言ください。
 - 本会合での発言内容はすべて録音・録画されたうえで公開されます。
- ビデオをオンにされますと、ミュートしていても顔映像が録画公開される場合があります。

日時: 2022年5月9日(月)17:00-19:00

参加者(五十音順・敬称略):

場所: オンライン開催

司会進行: 加藤 幹之

資料:

1. [プログラム委員会\(PC\)の守備範囲と活発化チームへの依頼について](#)
2. 活発化チームロードマップ(igf2021:691)
3. [国内IGF活動組織化に向けた、活発化チームにおける合意形成について](#)
4. 参考: [\(igf2021:372\) プログラム委員会の進め方\(案\)](#)

アジェンダ:

1. 本日の打合せの目的確認 [5分]

- IGF2023ホストである日本政府としての準備状況の進捗報告および共有
- MAG会合の報告および共有
- 2022 秋イベント(日本インターネットガバナンスフォーラム2022 ~IGF2023 日本開催を見据えて)
 - 実施運営体制について
 - セッション募集要項について
- NRI組織枠組み・仕組みの素案について
- ユース活動の方針提案について
- チーム定例会合の運営方法について(議長／司会、運営規則を定めるか、等)

2. 前回議論の振り返り [10分]

第17回会合の概要[資料]:

- IGF2023ホスト(政府)としての検討状況報告
 - エキスパートグループ会合の参加報告
 - 国連事務総長のロードマップ、コモンアジェンダ、2025年に予定されているWSIS+20などを念頭に置いた議論がなされる見込み
 -
- IGF MAGメンバーからの報告
 - 4月5日および11日の会議について報告があった
- 秋イベントについて
 - プログラム委員会の守備範囲について(本田)
 - 提案を資料として作成する予定
 - B案(プログラム委員会にエンゲージメントおよびイベント運営機能を含める)について説明
 - 本田さんが説明したことの多くは、プログラム委員会のタスク表の中には入っておらず、形の見える話をしてほしい、どのように進めれば実現するのか、ということがないと宙に浮いてしまう。仕切り直して、どうするかを言ってほしい。(上村)

- 総務省などの協力を得るなどして、資金が得られれば解決できる。専門性のある人をボランティアで探してきてもよいのでは。(本田)
- 誰がお金を使うのか、という点を明確に決めないと先に進めない。(上村)
- 組織化前にJPNICが資金をプールして代わりに支出するのは可能か。(本田)
- 可能性としてはあると思う。(前村)
- 秋イベントのためにJPNICが主催になって資金を支出するのは可能か。(本田)
- 秋イベントと組織化は別物として存在し、ミートしない可能性はあるが、秋イベントまでには団体が存在するようにしたいと思っている。母体団体のため秋イベントが開催できないという状況は避けたいので、秋イベント実現に向けてJPNICはできるだけことはしようと思う。(前村)
- 秋イベントのために資金集めをするなら、アジェンダとして提出してほしい。会場については、これまでは大学などを安くもしくは無料で提供してもらい、JAIPAやJPNICに提供してもらいなどだったと思う。ハイブリッドなのであればそれほど大きな会場は必要ないと思う。(加藤)
- 結論:プログラム委員会枠組みについて:以下B案を主体とするが、追加タスク案をMLで議論する
 - A案:ステークホルダーエンゲージメント機能、イベント事務局機能をプログラム委員会の外に出す
 - B案:ステークホルダーエンゲージメント機能、イベント事務局機能をプログラム委員会に内包する
 - (注)B案で決定(?)の確認と必要に応じて、具体的な事務局機能の確認=できるだけ事前にMLで意見表明してください。
- 秋イベントの名称(本田)
 - 結論:イベント名称は3つの案が出され、参考までに会場参加者のコンセンサスはiであった。引き続きメーリングリストのラストコールにかけることとする。
 - i. 日本インターネットガバナンスフォーラム2022 ~IGF2023 日本開催を見据えて
 - ii. 日本インターネットガバナンスフォーラム2022 ~2023年日本開催を見据えて
 - iii. 日本インターネットガバナンスフォーラム2022
- 秋イベントのテーマ
 - 結論:会合の場では決められなかった。メーリングリスト505番を見たうえで、メーリングリストで議論して1つに決めることとする。
 - i. インターネットって誰のもの?
 - ii. 今こそ知るべきインターネットの話題:デジタルデバйдからウクライナ危機まで
 - iii. 今、改めて問われるインターネットの自由
- NRI組織枠組み・仕組みの素案について
 - 資料について説明(前村)
 - 2. 設立趣意書案
 - 3. 国内のインターネットガバナンス関連活動の組織化案
 - 4. 一般社団法人定款
 - 結論:次回5月9日会合で最終形を採択すべくML上で議論する。

- ユースについて: 時間がないため割愛
- チーム会合の運営について
 - 特に何も決まらなかった。
 - チャーターでは議長については定義されていないが、チャーターを変えることで定義する可能性が示された。
 - (注) 時間的余裕があれば、この点についても触れたいです。意見があれば、できるだけ会議前にMLに投稿してください。

3. 宿題の進捗確認 [5分]

📌 IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チームtodo一覧表 を参照のこと

4. IGF2023ホスト(政府)としての検討状況報告 [5分]

5. IGF MAG報告[5分]

6. 秋イベント(事前会合／本会合)について [30分]

- 推進体制／プログラム委員会の守備範囲について
- セッション募集要項について
 - 決定事項
 - 今後のスケジュール
- 活発化チームレベルでの結論が必要な事項
 - 会合の名称
 - 会合全体のテーマ
 - イベント開催形態: ハイブリッド
 - プログラム委員会の所掌範囲＋イベントロジチームをどうするか
 - 時期: 10月中旬(17日以降)から後半が妥当ではないか
 - 主催・後援: 実施主体が誰か分かるようになっているとよい
 - 英語セッションの通訳要否
 - (注) 以上の各点について、できるだけMLでの事前の意見発信をお願いします。

7. NRI組織枠組み／仕組みについて [30分]

- (注) 現在、設立趣意書や組織化案、定款案の3つの提案がなされていますが、これらは組織化の趣旨を明確化し、議論の促進のために作られたものです。この活発化チームでは、基本的な方針を確認することを目指します。会議の前にできるだけMLでの意見発信をお願いします。

8. ユース活動について[10分]

9. チーム会合の運営について(議長／司会、運営規則を定めるか、等)[10分]

- 活発化チームの議長を決める必要がある。

10. 本日の議論を受けたTodo確認 [5分]

- 秋イベント
 - プログラム委員会のカバー範囲はB案とする
 - イベント名はi.「日本インターネットガバナンスフォーラム2022 ～IGF2023 日本開催を見据えて」で決定
 - テーマはiiiで決定「今、改めて問われるインターネットの自由」
 - 開催形態はハイブリッド

- 英語:募集要項は日本語、英語しか話せない登壇者への対応はセッションコーディネーターに任せる
- 新プログラム委員会の参加募集実施(事務局)→上村さんに要確認
- NRI組織枠組み
 - 改版した趣意書案を、次回会合にてチームによる同意を得る(前村)
 - 組織化案に関して、コミュニティが実施することと、運営組織である法人が実施することをリストアップして具体的に示すべく文書を改版する(前村)
 - 組織化案中の必須事項を選び分けて分かりやすく示す(前村)
- ユース
 - いつまでに何をしたいか、案を作成してMLで議論する(山崎)
- チーム会合の運営:
 - 活発化チーム代表としての議長が必要か、についてMLで発議する。(堀田)
- 次回開催日時:5月30日(月)17時

9. 次回打合せについて[5分]

- 次回アジェンダ(たたき台)
 - 秋イベント
 - NRI組織枠組み
 - ユース
 - チーム会合の運営
- 次回打合せの開催時期(3週間おき開催が原則)
 - 候補日時:5月30日(月)17時

10. その他 [5分]

●

以上